KCRC-26-0023

臨床研究の名称	BIP（bronchiolocentric interstitial pneumonia）の検討
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科　部長　馬場 智尚
研究の概要	【目的】 2025 年に間質性肺炎の国際的な診断分類が改訂され、「細気管支中心性間質性肺炎（bronchiolocentric interstitial pneumonia：BIP）」という、病理や画像でみられる特徴を表す新たな分類上の名称が示されました。一方、2013 年の国際分類では、細気管支を中心に炎症や線維化がみられる所見は、「Bronchiolocentric Patterns of Interstitial Pneumonia」として、まれな病理組織学的パターンの一つに位置付けられていました。 本研究では、病理学的に Bronchiolocentric Patterns of Interstitial Pneumonia と考えられる患者さんを対象に臨床情報・画像・病理像を検討し、2025 年に示された BIP に共通する臨床・画像・病理学的特徴を明らかにします。 【対象患者】 2005 年 1 月から 2026 年 7 月までの間に当院で肺生検（クライオ肺生検、外科的肺生検）を行った間質性肺疾患の方で、病理学的に Bronchiolocentric Patterns of Interstitial Pneumonia と考えられる患者さん 【方法】 上記の方を対象に下記情報を収集し検討します。 収集した情報は患者さん個人を識別することができない状態にした上で、院内および院外の間質性肺疾患を専門とする呼吸器内科医・放射線診断医・病理診断医によるチームに MDD（多分野による集学的検討）を依頼し、MDD で確定した画像所見、病理学的所見の評価、臨床画像診断、臨床画像病理診断などの評価結果を用いて、BIP の臨床・画像・病理学的特徴を検討します。 【使用する情報】 年齢、性別、原疾患、併存疾患、身長、体重、喫煙歴、生活歴、治療内容、検査結果（血液、呼吸機能、動脈血液ガス、6 分間歩行試験）、画像（X 線、CT）、気管支肺胞洗浄、病理組織画像および所見、経過など 【使用の開始予定日】 2026 年 10 月開始予定
問い合わせ先	呼吸器内科　部長　馬場 智尚 〒236-0051　横浜市金沢区富岡東 6-16-1

	神奈川県立循環器呼吸器病センター 電話番号　045-701-9581 （代表）

2026 年 9 月作成

※ 研究に情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益を生じることはありません。上記の問い合わせ先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。

※ 問い合わせ先の担当者が不在の場合は、臨床研究室にお問い合わせください。